

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年10月20日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1455
排出削減事業者名	Rosarium Ogoda
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン
事業実施場所	Rosarium Ogoda (静岡県御殿場市川柳 93)
事業の概要	木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、ボイラの燃料をA重油から木質バイオマスへ転換することにより、CO2 排出量を削減する。 なお、A重油ボイラは、引き続きバックアップとして利用する。
排出削減量の計画	2011 年度：23tCO2/年 2012 年度：75tCO2/年 2013-2018 年度：72 tCO2/年 2019 年度：59t CO2/年 (事業実施期間合計 589tCO2)
認証期間	開始日 2012 年 1 月 27 日 終了予定日 2020 年 1 月 26 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年 1 月 26 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2020年1月26日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	633 tCO ₂ （2013年4月1日～2020年1月26日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 承認排出削減事業計画通りバイオマスを燃料とするボイラーへの更新が実施されていることを、ヒヤリング及びペレット請求書より確認している。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、燃料使用量の集計確認等のモニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性 ペレット請求書、成分分析結果及び事業者への質問により、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をペレット請求書及び集計表との突

	合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2020年1月26日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2020年1月26日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は原油換算 230.3kl、熱量換算 8,925GJであることを確認した。

以 上